

# 附 録

信濃毎日新聞では、「続・占領下の空  
白『地理調査所』物語」と題する連載  
を一九九五年十二月二三日から一九九  
六年二月十四日まで三十回にわたって  
おこなった。終戦前の陸地測量部の時  
代から地理調査所の時代を回想するも  
ので、興味深い記事となっている。そ  
の第一回～第五回は「地図原版を確保  
せよ」と題し、渡辺正氏より取材して  
同氏の終戦前後の活動をおもなテーマ  
としている。本資料集の内容に大きく  
関連する資料として、信濃毎日新聞社、  
信毎フォトサービスより許可（許可番  
号、〇五〇三一〇五）をえてここに掲  
載する。なお第一回は十二月二三日、  
第二回～第五回は同二六日～同二九日  
に掲載された。



# 地図原版を確保せよ

②

## 続・占領下の空白 地理調査所 物語

— 2 —

昭和二十年九月中旬、日  
Q(連合陸軍機動司令部)から  
参謀本部に「松本地区」の  
松本師の要領がいろいろあ  
る。その中の詳細調査を  
後、松本に「地理調査所」を  
命じた。そこで、陸軍次  
官の若松は一中将、参謀本  
部第二部長の有木三中将  
が私を呼んで松本、杉本  
行くと。若松の意としては、

地理調査所長 若松 一中将  
参謀本部第二部長 有木 三中将  
参謀本部第三部長 若松 一中将  
参謀本部第四部長 若松 一中将  
参謀本部第五部長 若松 一中将  
参謀本部第六部長 若松 一中将  
参謀本部第七部長 若松 一中将  
参謀本部第八部長 若松 一中将  
参謀本部第九部長 若松 一中将  
参謀本部第十部長 若松 一中将

### たった一人同行 車5台で松本へ

#### GHQの視察

と指示された。  
一言は十五名、シールな  
五台を準備して出かけた。松本  
まで入米車は五台はなわ  
われば足りぬ。何か事故でも  
起るとは大変だ。このため、  
四台を準備して、途中の調子  
早急を万全にやってもいい  
だ。

佐に集めてもらって、参  
謀本部にセタンがあったの  
で、それにタンパー大佐、テ  
ィン大佐と私と通訳が乗っ  
た。通訳はクロサカと申す  
い二世の重曹、非常な、幾  
んど二人は、何か調子が  
悪かったら、即ち退却する  
わけだ。要領していた。

私はその時、軍刀もスト  
ルも車上を持っていない。

の中に士手集めて、参  
謀本部にセタンがあったの  
で、それにタンパー大佐、テ  
ィン大佐と私と通訳が乗っ  
た。通訳はクロサカと申す  
い二世の重曹、非常な、幾  
んど二人は、何か調子が  
悪かったら、即ち退却する  
わけだ。要領していた。



参謀本部の地理調査所を準備した。シールな  
五台を準備して出かけた。松本  
まで入米車は五台はなわ  
われば足りぬ。何か事故でも  
起るとは大変だ。このため、  
四台を準備して、途中の調子  
早急を万全にやってもいい  
だ。

その後は、内務省を通じて  
関東の半島道州川、松本  
師團司令部へ送られた。こ  
よよ、明日は松本だ。た  
たにか、準備は、司の  
おん、準備せよ。た  
松本の要領を、その手  
に集めてもらって、参  
謀本部にセタンがあったの  
で、それにタンパー大佐、テ  
ィン大佐と私と通訳が乗っ  
た。通訳はクロサカと申す  
い二世の重曹、非常な、幾  
んど二人は、何か調子が  
悪かったら、即ち退却する  
わけだ。要領していた。

【注】 視察ルーツは、  
松本のシールな五台を準備  
して出かけた。松本まで入  
米車は五台はなわわれば  
足りぬ。何か事故でも起  
るとは大変だ。このため、  
四台を準備して、途中の  
調子早急を万全にやつも  
いいだ。





